

2019年4月1日から2020年3月31日に、当院で気胸治療のため入院された方へ

研究実施のお知らせ

呼吸器外科では2019年4月1日から2020年3月31日までの期間に福岡東医療センターで自然気胸（原発性、続発性）に対して入院治療を受けられた患者を対象に、「自然気胸の適切な治療法の確立へ向けた実態調査」に関する多施設共同研究に参加することといたしました。

このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報公開をすることが必要とされております。

研究の題名：本邦における気胸治療の実態調査：多施設共同後方視的研究

研究期間：倫理委員会承認後～主解析終了まで

研究責任者：福岡東医療センター 呼吸器外科 濱武 大輔

多施設共同研究代表者：前橋赤十字病院 呼吸器外科 井貝 仁

院内倫理委員会承認番号：2021-臨-21

本研究の実施について福岡東医療センター院長の許可を受けています。

【研究の目的と意義について】

呼吸器領域において、原発性自然気胸、続発性自然気胸は遭遇する頻度が多い疾患です。

しかしながら、その治療に関しては施設毎によって異なり各々の病態に応じた適切な治療法が確立されているとは言い難い状況です。この理由の一つとして、気胸に対する診療の実態が不明確であることが挙げられます。日本気胸・嚢胞性肺疾患学会では以上のような状況を鑑み、ガイドラインや臨床研究のコントロールに役立つデータベースを構築する必要性を認識しており、学術委員会を中心に原発性自然気胸、続発性自然気胸の実態調査を行うことが望ましいと考えました。

本研究の結果により、今後日本における自然気胸に対する最適な治療法を確立するための有益なデータになると期待されます。

【研究の方法について】

今回の研究では、2019年4月1日から2020年3月31日の期間に自然気胸に対して入院治療を受けられた患者さんが対象となります。その患者背景、疾患、治療法、退院時転帰の実態を調査し、

退院時転帰に影響を与えた因子を明らかにします。患者さんが診療を受けられた際の電子カルテ情報がデータとして使用され、得られたデータは個人が特定できない形に匿名化した上でデータ解析します。また、この研究に必要な臨床情報は全て診療録より取り出しますので、改めて患者さんに受診いただくことはありません。

多施設共同研究代表者： 前橋赤十字病院 呼吸器外科 井貝 仁
電話 027-265-3333

問い合わせ先： 福岡東医療センター 呼吸器外科 濱武 大輔
電話 092-943-2331